

AI時代のウェルビーイング

中島 秀之

札幌市立大学 学長

深層学習の画期的な進展により AI の実用化が進んでいる。しかしながら深層学習には限界もあり、万能というわけではない。深層学習は過去の事例から学習するものであり、その学習能力には目を見張らせるものがあるが、同時に学習としての限界を持っている。記号処理による補完が必要である。

現在は AI の3度目の夏と言われているが、それに至る AI 研究の歴史を概観し、その上で AI の能力の可能性と限界を浮き彫りにし、ウェルビーイング支援の方向性を探る。人間と AI の最大の相違点は、人間は実空間で生活しているのに対し、AI は生活体験を持たないということである。そのため、人間との価値観の共有ができない。そのような AI を人間生活のウェルネス向上に役立てるためには多くの条件がある。そのような条件についても考察する。

略 歴

1983年 東京大学大学院 情報工学専門課程 修了(工学博士)
電子技術総合研究所 入所
2001年 産総研サイバーアシスト研究センター長
2004年 公立ほこだて未来大学 学長
2016年 東京大学先端人工知能学教育寄付講座 特任教授
2018年～ 現職

認知科学会 元会長
情報処理学会 元副会長・元編集長
サービス学会 編集長
情報処理学会・人工知能学会・認知科学会 各フェロー

主要編著書：

- AI 白書 2022(角川アスキー)
- DX 白書(IPA)
- 計算論的思考ってなに？(公立ほこだて未来大学出版会)
- スマートモビリティ革命(公立ほこだて未来大学出版会)
- 人工知能—その到達点と未来(小学館)
- 人工知能革命の真実—シンギュラリティの世界(WAC)
- 知能の謎(公立ほこだて未来大学出版会)
- Handbook of Ambient Intelligence and Smart Environments (Springer)
- 知能の謎(講談社ブルーバックス)
- AI 事典(共立出版)
- 思考(岩波講座認知科学8)
- Prolog(産業図書)